

イスラム教と宗教

2000.11.25

仮説実験授業研究会 丸山 秀一

kasetsu.maruyama@nifty.com

イスラム諸国と世界

[質問]

イスラム教は、キリスト教と並ぶ世界二大宗教の一つです。それでは、現在イスラム教徒は世界にどれぐらいいると思いますか。

予想

- ア 20 億人ぐらい (全人口の 3 分の 1)
- イ 10 億人ぐらい
- ウ 5 億人ぐらい
- エ もっと少ない

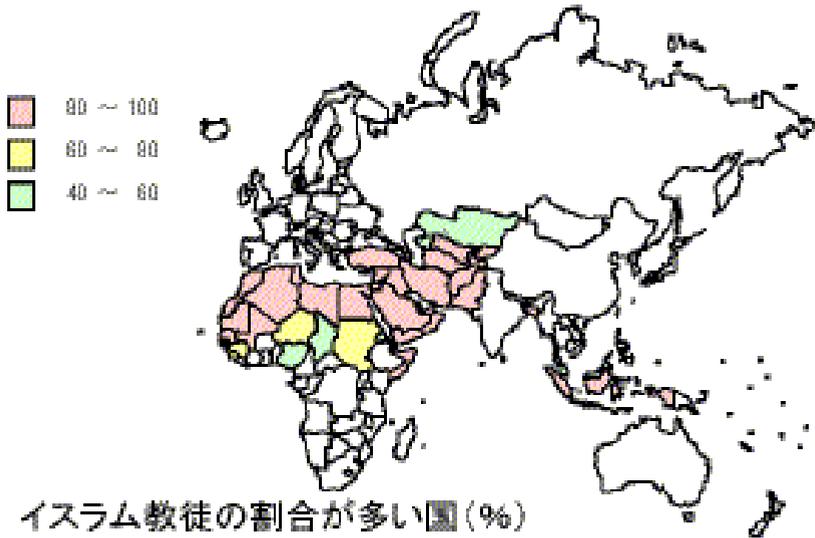
また「国民の 9 割以上がイスラム教徒」という国はどれぐらいあると思いますか。

予想

- ア 50 カ国ぐらい (4 分の 1)
- イ 30 カ国ぐらい
- ウ 10 カ国ぐらい

・イスラム教の国ぐに

現在全世界にいるイスラム教徒の数はおよそ9億人程度と予想されています。また国民のほとんどがイスラム教徒である国が50カ国ほどあります。



[質問]

55 カ国と 1 地域 (パレスチナ), そして 4 つのオブザーバー国で構成するイスラム諸国会議機構(The Organization of Islamic Conference = 略称 OIC)というのがあります。これは「世界のイスラム諸国が相互に結束して協力関係を築き, 国際舞台においてイスラム世界の声を代表することを目的とした」もので 1971 年に成立しました。加盟国に対しての厳密な規定はなく, 自分たちの国が「イスラム国家である」と思っている国が集合しています。この O I C 加盟国をイスラム国家と考えても良いでしょう。



OIC の旗には, イスラムの象徴である緑と三日月があります。

イスラム諸国会議機構 (OIC) 旗

では OIC の旗にあるアラビア文字に書かれている言葉はなんだと思いますか。

予想

- ア 「アラーは偉大なり」
- イ イスラム諸国会議機構
- ウ ジハード (聖戦)

[質問]

21 カ国とパレスチナからなるアラブ連盟という組織があります。これは、アラブの統一を目指して 1945 年に作られたものです。アラブ連盟加盟国は、すべてイスラム諸国会議機構の加盟国でもあります。

アラブ連盟の旗も、緑を基調としたもので、三日月も描かれていて、OIC の旗とよく似ています。

ではアラブ連盟の旗には、アラビア文字でなんと書かれているのでしょうか。



アラブ連盟旗 (League of Arab States)

予想

- ア 「アラーは偉大なり」
- イ アラブ連盟
- ウ アラブの統一

OIC の旗には「アラーは偉大なり」、アラブ連盟の旗には「アラブ連盟」と書かれています。

[質問]

OIC 加盟諸国の人口に対してイスラム教徒が占める割合はどれぐらいなのでしょう。イスラム教徒の割合が少ないのに加盟している国もあるのでしょうか。

予想

- ア 全加盟国のイスラム教徒の割合が 70%以上
- イ 50%以上
- ウ 30%以上
- エ 10%以上
- オ そのほか

・イスラム教徒の割合と OIC 加盟

OIC 加盟 55 カ国のうち半数以上の 27 カ国でイスラム教徒の割合が 90%以上です。また 43 カ国で 50%以上となります。しかし 20%以下の国も 8 カ国あり、ガボン共和国では、イスラム教徒の割合は 1%以下です。

| 国名 | イスラム教徒の割合 (%) | 備考 |
|-----------|---------------|----|
| ガボン共和国 | <1 | |
| ガイナ協同共和国 | 9 | |
| ウガンダ共和国 | 10 | |
| トゴ共和国 | 10 | |
| ベナン共和国 | 15 | |
| スリナム共和国 | 16 | |
| モザンビーク共和国 | 18 | |
| カメルーン共和国 | 20 | |

イスラム教徒の割合が少ない OIC 諸国

[質問]

OIC のオブザーバー国のひとつに、イスラム教以外を国教としている国があります。その国はどこだと思いますか。

予想

- ア レソト (キリスト教)
- イ ネパール (ヒンズー教)
- ウ カンボジア (仏教)
- エ タイ (仏教)

・少数民族に配慮する国

それはタイ王国です。タイでは事実上仏教が国教です。しかし、タイ南部に住むマレー系の住民はイスラム教徒でタイからの分離独立を要求しています。そうした問題もあってタイは OIC のオブザーバーになったのでしょう。歴史的にみても、タイは様々な国際組織や陣営と関わりを持つようになってきた国です。タイは、先の戦争の時、日本と同盟し欧米に対して宣戦布告をしたのですが、戦争後は敗戦国の扱いを免れました。

OIC 加盟国でもイスラム教徒の割合が少ない国は、そうした少数のイスラム教徒に配慮しているのかも知れません。

イスラム諸国会議機構(OIC)加盟国



[質問]

OIC 加盟国 (55 カ国 + パレスチナ) のほとんどが赤十字・赤新月社連盟に加入しています。非加盟なのは 4 カ国とパレスチナ (オブザーバー) だけです。それでは残りの 51 カ国の加盟国はそれぞれの国内赤十字・赤新月社の旗としてどんな意匠の旗を使っているのでしょうか。イスラムの象徴である赤新月旗を使っている国は、どれくらいあるのでしょうか。

予想

- ア 40 カ国以上
- イ 30 カ国ぐらい
- ウ 20 カ国ぐらい
- エ 10 カ国以下



赤十字旗



赤新月旗

・イスラム諸国と赤十字・赤新月

OIC 加盟国の内 21 カ国が赤十字旗を使用します。赤十字を使用する国は、どの国もイスラム教徒の割合が 9 割に達していませんし、イスラム教を国教としている国もありません。また国旗に三日月の意匠が使われていないのが特徴です。残りの国は、22 カ国が「右弦」の赤新月旗を使用し、8 カ国が「左弦」の赤新月旗を使用しています。「左弦」の赤新月旗を使用する国は、すべてイスラム教徒の割合が 90%以上で、「右弦」の赤新月旗を使用する国の 16 カ国もイスラム教徒が 90%以上の国です。

(図は別紙)

[研究問題]

国際赤十字・赤新月社連盟の旗は、赤十字と右弦の赤新月旗です。では左弦の赤新月旗にはどんな意味があるのでしょうか。

予想

- ア イスラム教内の宗派の違い
- イ 加盟時期の違い
- ウ アラブ連合加盟による違い
- エ 地域による違い
- オ そのほか

イスラム教と宗教

[質問]

国教を定めている国は世界に 41 カ国あります。その中で一番多い宗教はなんでしょうか。

予想

- ア キリシト教
- イ イスラム教
- ウ 仏教
- エ そのほか

・政教一致

そのうち 22 カ国がイスラム教を国教としています。残りは 14 カ国がキリスト教を国教としています。国教を定めていても信教の自由を保障している国もありますが、それでも異教徒に対しての差別は歴然としています。

このようにイスラム教では、現代でも政治と宗教が密接に結びついているのが特徴です。

[質問]

木村尚三郎 監修 『学習漫画 世界の歴史 6 マホメットとイスラムの国ぐに』 集英社 1986.7

という本があります。この本は漫画ですが、イスラム教についてすっきりとしたイメージを描くことができます。

この本に出てくるムハンマド（マホメット）には顔が描かれてはいません。それはどうしてでしょうか。

予想

- ア ムハンマドの顔には諸説あり論争中だから
- イ イスラム教の教えで顔を描いてはならないから
- ウ ムハンマドは預言者なので神秘的な扱いにしたかったから

・偶像崇拜

たいていの宗教には「神として崇拜する対象のもの」があります。それは神の像だったり、自然物だったりします。しかしイスラム教では、こういった偶像崇拜を一切認めていません。それはイスラム教がそれまでのアラブ世界における偶像崇拜へのアンチテーゼから始まったためかもしれません。そのためイスラム教の教えでは、神や預言者（ムハンマド）などの顔を描くことも禁止されています。この本ではそのことを考慮してムハンマドの顔を描いていないのです。しかしイスラム教においては、ムハンマドは神ではなく、あくまで人間でしかありません。

[質問]

この本にはムハンマドの他にも顔が描かれていない登場人物が何人かいます。誰でしょうか。ムハンマドはメッカを支配していたクライシュ族の中で有力だったハーシム家に生まれました。彼の父親は、彼の生まれる前に死亡していました。

- () 母 () クライシュ族の貴族だった妻のハディージャ
- () ムハンマドに神のお告げをした大天使ガブリエル
- () 祖父 () 養子のザイド
- () 初代正統カリフ イスラム教の指導者 のアブー・バクル
- () 育ての親であるハーシム家の家長アブー・ターリブ
- () いとこでハーシム家長の息子、ムハンマドの娘婿、第4代正統カリフのアリー

・天使

おもしろいことに、顔を描かれていないのは、ムハンマドと彼の母と妻の3名です。妻は貴族出身の大金持ちの商人で未亡人でした。そして15歳年下のムハンマドと結婚したのです。ムハンマドがイスラムの教えを説いたときに、最初に信者になったのが妻でした。それからいとこのアリー、養子のザイド、親友のアブー・バクルがイスラム教徒となりました。彼のおじであり育ての親でもあるアブー・ターリブは信者とはなりません。ムハンマドの母が神格の扱いを受けているのは、キリスト教におけるマリアと同じですが、妻も同じ扱いというのがおもしろいです。それは、一番最初の信者だからでしょうか。でも本によっては、ムハンマド以外の人物の顔を描いているものもあります。

イスラム教徒の中のシーア派は「アリーとその子孫だけがムハンマドの正統な跡継ぎ」と主張していて、アリーも別格の扱いを受けても良さそうですがそうではありません。

天使も神様並の扱いを受けても良さそうですが、しっかりと顔が描かれています。イスラム教において天使は「神と人間の間存在的存在」となっています。神の使いである天使はたくさんいると信じられており、その天使の中でも一番位が高いのが大天使ガブリエルだそうです。ガブリエルは、イスラム教、キリスト教、ユダヤ教に共通する天使です。

[質問]

イスラム教では、アッラーの正しい教えを広めるために戦うことを「聖なる戦い (= ジハード)」として認めています。過去のイスラム帝国を拡大するための戦争や十字軍との戦い、そして中東戦争も、こうした聖戦 (ジハード) でした。

ではこうした戦争でイスラム教徒が勝った場合は、征服された土地のイスラム教徒以外の民衆はどうなったのでしょうか。

予想

- ア 奴隷として使われたり虐殺されたりした
- イ イスラム教徒への改宗を強制された
- ウ 税を払えば許された
- エ そのほか

・イスラム帝国

イスラム帝国は、ローマやペルシャ帝国のような厳しい住民統治を行わなかったようです。イスラムの教えでは、イスラム教徒は奴隷であれ、平等です。だから占領地の民衆がイスラムへと改宗すれば、イスラム教徒と同じ権利を与えました。イスラムの教えは、民族によらないのです。またユダヤ教徒とキリスト教徒は、イスラム教と同じ一神教のため、改宗せずとも税を払えば、その土地に住むことを許されていました。

このことがイスラムの世界を大きく広げることに繋がっていたのです。

・スンニー派とシーア派

ムハンマドの死後、ムハンマドにかわる新しいイスラムの指導者（カリフ）が4代まで選ばれました。しかし第4代カリフのアリーの死後、イスラム教は大きく2つに分裂します。

そのひとつが「ムハンマドとカリフの言葉や行いを守る」というスンニー派（スンナ派）でその後栄えたウマイヤ家を支持しました。現在のイスラム教徒のほとんどがこのスンニー派です。

もうひとつが「アリーの党派」という意味のシーア派です。彼らは「アリーこそムハンマドの正しい後継者」として、ほかのカリフを認めず、アリーの血を引くものだけをイスラム教の指導者として認めています。

このふたつの大きな派閥は、今日でも争いを繰り返しています。

[質問]

現在私たちが使っている数字は、アラビア数字が元になったものです。それでは現在アラビア語が元になった言葉もたくさん使われているのでしょうか。

次の言葉のうち、アラビア語が元になったものはどれでしょうか。

- () アルコール () ソファー () パジャマ
() コーヒー () レモン () オレンジ
() チューリップ () ゼロ

・イスラムの文化

イスラム帝国ではヨーロッパよりもずっと文化が進んでいました。そこでは学問や文学はすべてアラビア語で表されて、ヨーロッパに紹介されていきました。そのためアラビア語から変化した言葉がいまも世界中でつかわれています。「アラビアン・ナイト」もイスラム文学の一つです。

アラビア語がもとになった言葉の例

アルコール、アルカリ、ソーダ、アンモニア、ガーゼ、コットン、ショール、ソファー、マガジン、パジャマ、マジック、キャラバン、バザール、シュガー、シロップ、ピーチ、レモン、オレンジ、アスパラガス、チューリップ、アネモネ、マンダリン、タンバリン、ゼロ、コーヒー、ギター、ナトリウム

[質問]

イスラム教徒の生活はその規律がコーランに記されています。次の習慣のうちイスラム教徒のものはどれでしょうか。

- () 豚肉を食べない
- () 酒を飲まない
- () 一夫多妻
- () 外出時女性は顔などを隠す
- () 必ず土葬
- () 左手は汚れた手

[質問]

エルサレムという都市は、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教共通の聖地です。違う3つの宗教がどうして同じところを聖地としているのでしょうか。

予想

- ア たんなる偶然
- イ 三つの宗教はもともと同じもの
- ウ エルサレムは当時の中心的都市だったから
- エ そのほか

この答えを読む前に、「聖書」について考えてみることにします。

[質問]

聖書には「旧約聖書」と「新約聖書」があります。「旧約」とか「新約」の「約」とはどういう意味なのでしょうか。

予想

- ア 「約」は「要約」。神の教えの要約の意味。
- イ 「約」は「約束」。神との約束の意味。
- ウ 「約」は「契約」。神との契約の意味。
- ウ 「約」は「訳」。聖書原文からの翻訳の意味。

・聖書

聖書のことを英語で Bible といいます。bible とは「(聖なる)書物」というのがもともとの意味です。キリスト教における聖書には、旧約聖書と新約聖書があり、それぞれ『Old Testament』、『New Testament』の和訳です。testament とは、ふつう「遺言」のことですが、「神と人との契約」という意味もあります。つまり「旧約聖書」の「約」は、「神との契約」の意味なのです。

[質問]

では「新」と「旧」の違いは何でしょうか。

予想

- ア 作られた年代が違うだけで内容的には続き物
- イ 「旧」は、すでに契約が終わった
(もしくは変更された)内容のもの
- ウ 「旧」はキリスト以前の契約
- エ そのほか

・過去の契約となった「旧約聖書」

『旧約聖書』は、「イスラエル人に対する神の救いの契約」で、
『新約聖書』は「人間に対するキリストの救いの契約」です。
つまり『旧約聖書』の契約の相手はユダヤ人です。そのためユ
ダヤ教の聖書は、キリスト教における『旧約聖書』と同じもの
です。いや歴史的には、ユダヤ教の教典を、キリスト教が救世
主（キリスト）の準備の書として『旧約聖書』としたのです。

[質問]

イスラム教の聖典は『コーラン』です。ではイスラム教にお
いて『コーラン』と『旧約聖書』『新約聖書』は、どう位置づけ
られているのでしょうか。

予想

- ア 『コーラン』のみが聖典
- イ 『旧約聖書』『新約聖書』も聖典
- ウ 『旧約聖書』は聖典

・コーラン

『コーラン』にはたくさんの預言者が登場します。しかしその物語は、アダムから始まりアブラハムまでは、ユダヤ教・キリスト教と全く同じです。だからイスラム教においても、モーセには「律法」、ダビデには「詩篇」、イエスには「福音書」の聖典がそれぞれ授けられたところになっています。しかし、それらの聖典は歪曲されていて神の啓示を正しく伝えていないので、神は最後に最終的に正しい聖典「コーラン」をムハンマドに与えたということになっています。

つまりイスラム教においても、ユダヤ教やキリスト教の聖書は、「現在は歪曲されて伝わっている」にせよ、ちゃんとした聖典には間違いのないのです。

ただ「コーラン」は聖書とは違って「契約の書」ではありません。イスラムの神は、人間と契約をする神ではなく、「ただ人間が従うだけ」の神です。そして神に従うということは、「コーラン」(神の言葉の書)に従うということなのです。

ここでもういちど「なぜエルサレムが共通の聖地なのか」について考えてみましょう。

・聖地エルサレム

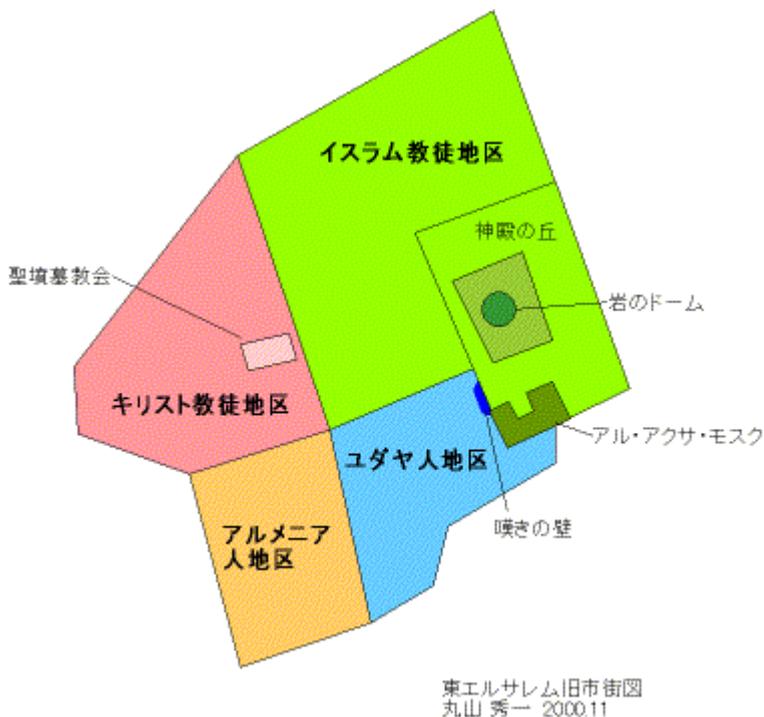
エルサレムはもともとエブスというカナーン人の要塞都市で、そこを紀元前 1020 年頃にイスラエル王国のダビデ王が占領し首都としたのが始まりです。ダビデ王の子のソロモン王が『聖書』の「創世記」に記された「モリヤの丘」に、モーゼが神から授かったという十戒の石版を納めた枢（アーク）を収めるための神殿を造ったことから、「神殿の丘」といわれるようになり、エルサレムが聖なる都になったのです。その後エルサレムはローマ軍に徹底的に破壊され、今では「嘆きの壁」という石垣を残すだけです。そこでこの「嘆きの壁」がユダヤ教最大の聖地となっています。

キリスト教徒にとってエルサレムは、イエスが十字架にかけられ、その後復活した地であり、信仰の出発点です。

また現在のイスラム教徒はメッカに向けて拝礼しますが、そうなる前はユダヤ教にならってエルサレムに向けて拝礼していました。ムハンマドもそうだったのです。コーランには、ムハンマドが死ぬときに神が大天使ガブリエルを遣わして、天馬でムハンマドをエルサレムに連れてゆき、彼はそこで死んだことが書かれています。だから、イスラム教にとってもエルサレムが聖地となっているのです。

さらに、実は『聖書』の記述の中、最初の人間であるアダムから、カナーンの地（現パレスチナ）に住むアブラハムの物語までは、三つの宗教とも全く起源が同じなのです。だから 3 つの宗教はもともと同じなのです。現に、三つの宗教それぞれの「神」が「違うものである」とは、どの宗教も主張していないのです。だから「神」を持ち出せば、それぞれ違う宗教の信者でもまとめる

ことが可能なのです。米国の貨幣に見られる「我ら神を信じる」の言葉も、まさに多民族国家におけるまとまりが目的なのでしょう。



・エルサレムの現状

現在のエルサレムは、イスラエルの首都としての西エルサレムとイスラエルが占領している東エルサレムに分かれます。東エルサレムの旧市街は、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教の共通の聖地です。

最近のイスラエル軍とパレスチナ人の衝突は、イスラエルの最

大野党リクードのシャロン党首が、アラブ人たちが「高貴な聖域」と呼ぶ「神殿の丘」に立ち寄ったことがきっかけでした。イスラエル側は神殿の丘にイスラエルの主権があることを主張したかったのですが、イスラム教徒にとって神殿の丘は、ムハンマドが昇天したとされる「岩のドーム」などがある宗教的に重要な聖地です。

しかし神殿の壁には、かつてユダヤ神殿の一部であった「嘆きの壁」があります。この嘆きの壁は、救世主による救済が行われる場所として、ユダヤ教最大の聖地になっているのです。ユダヤ人にとって最大の聖地をパレスチナ人に渡すことはできないのです。

さらにこの神殿の丘のすぐ近く(図ではだいたい1センチが200メートル)には、キリストが張り付けになったゴルゴダに建つとされるキリスト教の聖墳墓教会があります。まさに3宗教の聖地がここに集まっているのです。

「神殿の丘がイスラムのものなのかユダヤのものなのか」という問題は、米国が提案しているとされる「国際管理下におく」という提案でも解決しそうにありません。

地図にはアルメニア人地区というものもあります。アルメニア人は、アルメニア共和国、トルコ、シリアなどパレスチナ一帯に住んでいる人たちで、宗教的にはキリスト教教会の一派であるアルメニア教会の信者が多いです。ですからキリスト教徒と考えてもよいでしょう。

[質問]

3 つの宗教共通の教えである「モーセの十戒」にあるものは次のうちどれでしょうか。

- () 神はただひとり () 求めよさらば開かれる
- () 何事も聖書が基本である
- () 神の像をおがんではいけない () 殺人の禁止
- () 目には目を () 金銭欲を捨てなさい
- () 姦淫の禁止 () 朝夕に祈ること
- () 神の名をみだりに唱えてはいけない () 飲酒の禁止
- () 盗みの禁止 () 偽証の禁止
- () 安息日を守ること () 洗礼を受けること
- () 貪欲の禁止 () 父母を敬うこと
- () 婚姻前の純潔の保持 () 中絶の禁止

・モーセの十戒

「あなたの父母を敬え。殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。隣人に対して偽証してはならない。隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、口バなど、隣人のものを一切欲してはならない。」『出エジプト記 20 章』『旧約聖書』より

これは予言者モーセが神との契約の時に神から示された十箇条の戒めの一部（第 5 戒以降）です。（残りの戒めは、唯一神への信仰、偶像崇拜の禁止、神名をみだりに唱えることの禁止、安息日の厳守。）

この戒めは、キリスト教とユダヤ教のみならずイスラム教においても、その宗教と倫理の基本原則となっています。これを読んで気がつくことは、とにかく「平和共存」を願っているということです。これはおそらく、宗教はその当初において、多種多様な民族が集団で平和に暮らせることを考えて、人の行動を律する目的があったと思われます。「隣人のもの」を一切欲しなければ、おそらく争いも起きないでしょうから。

しかし 3 つの宗教とも、この共通の基本原則から出発しながら、その解釈の違いを互いに認めることなく、殺し合いにまで発展しているのは皮肉です。いや、もともと宗教にはその危険性が内在しているのかもしれませんが。

[質問]

現在のエルサレムにおけるユダヤ教徒とイスラム教徒との対立は、聖地エルサレムをめぐるものです。同様に、キリスト教徒とイスラム教徒も十字軍などで聖地をめぐる争いをしてきました。では、キリスト教徒とユダヤ教徒の関係はどうなっているのでしょうか。

予想

- ア 大変友好的
- イ お互いに無視
- ウ 友好的ではない

・反ユダヤ主義

ナチスのホロコーストを例に挙げるまでもなく、ユダヤ人は歴史において常にキリスト教徒に差別され迫害されてきました。キリスト教徒は、宗教的理由でユダヤ人が許せないのです。それは「キリストがユダヤ人の大衆によって処刑された」ようなものだからです。『新約聖書』には、はっきりと「ユダヤ人がイエスを捕らえて十字架にかけた」と書かれています。またユダヤ教の教義も、キリスト教徒やイスラム教徒からは嫌われているものです。それは、ユダヤの神は「ユダヤ人だけの神」だからです。キリスト教とイスラム教は、人種や民族を超越している宗教です。そして同じルーツの3宗教のうち、ユダヤ教だけがユダヤ人だけで神を独占しているわけです。

差別されていたユダヤ人は教会から「汚い金融の仕事」をさせられました。結果的にそれが成功し、現在ユダヤ人は世界の金融を握っています。また迫害を受けたユダヤ人が多数集まった新大陸の米国では総人口の30%ほどがユダヤ人だといわれています。そして米国政府もユダヤ人の意向を無視した政治はできないのが現状です。

[質問]

『民族の世界地図』には「世界の宗教」として世界地図が宗教によって色分けされている図があります(68~69 ペ)。ここでは「キリスト教プロテスタント教会」「イスラム教スンナ派」などで分類されているのですが、3 つの国だけが宗教ではなく国で分類されています。その三つの国はどこでしょうか。

予想

- ア 米国
- イ 中国
- ウ 日本
- エ 韓国
- オ ロシア

・宗教での分類は不能？

その三つの国は，中国，韓国，日本です。これら三つの国は [] つきで示されていて，[キリスト教] などと同じく宗教のひとつという扱いです。どうもこの三つの国は，宗教では分類できないようです。本文でも日本のことは以下のように書かれています。

島国で，かつては他民族どころか他県の人とも接触する機会の少なかった日本では，大宗教は発達しなくとも，村，町，国の地域性がアイデンティティの源であり，行動を律する規範にもなっていた。いわば「恥」を旨とする日本教のもとで社会が保たれてきたわけだ。(71 ペ)

文献一覧

- ・ 木村尚三郎 監修 『学習漫画 世界の歴史 6 マホメットとイスラムの国ぐに』 集英社 1986.7
- ・ 21 世紀研究会編 『民族の世界地図』 文春文庫 102 文藝春秋 2000.5 750 円
- ・ 辻原康夫 『世界の国旗全図鑑』 小学館 1998.1
- ・ 小学館 『スーパー・ニッポニカ ライト版』 CDROM
- ・ 大巧 『せかいの国 191』 CDROM
- ・ 外務省 「世界の国一覧」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/ichiran/index.html>
- ・ World Flag Database <http://www.flags.net/>